

## 【資料 1】

各構成員における減災に向けた取組実績、  
取組予定及び災害対応事例について

## 【昨年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

試行期間を経て「避難勧告等の発令基準及び災害時行動計画」を本格運用

災害対策本部にて、当該基準、計画に基き災害対応を決定



## 【今年度取組内容】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

住民の自発的な防災活動の推進に向けて「地区防災計画」の策定を進める

ワークショップ等を通して地域の防災意識の醸成を図り計画策定を目指す



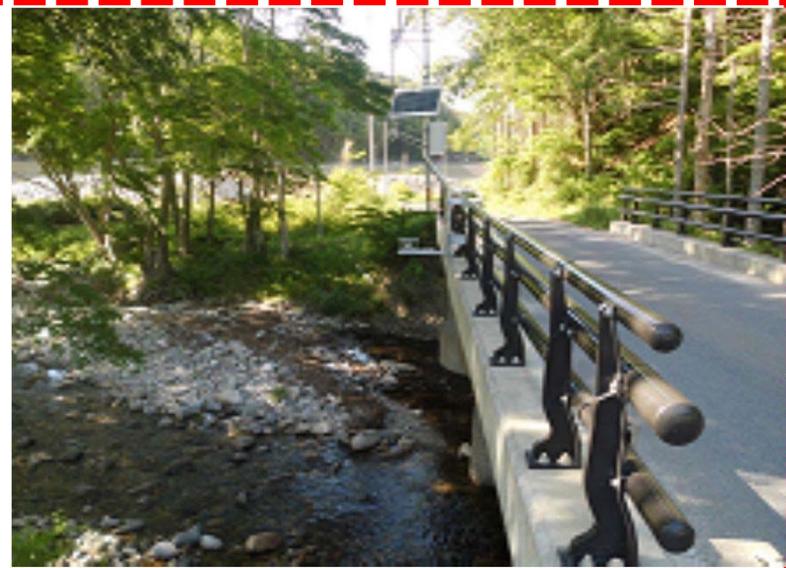
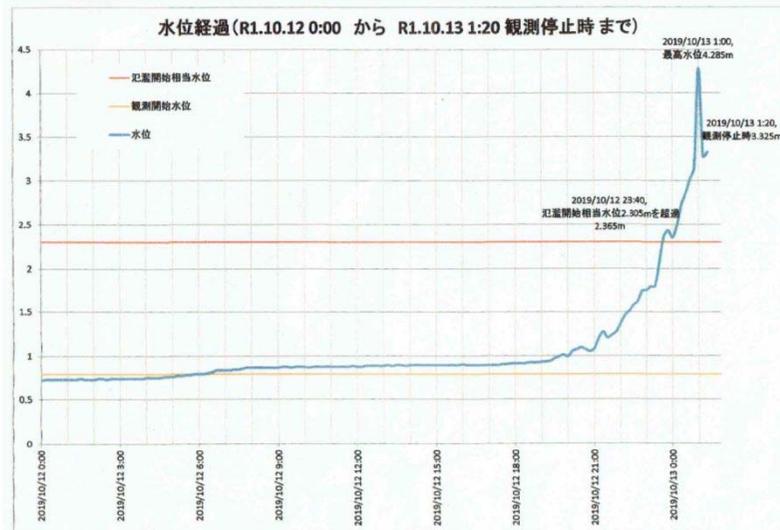
【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■宮古市

## 【昨年度の災害対応事例】

効果：気象庁防災情報提供システム等の情報によりタイムラインを更新し避難勧告の発令に活用した。また、流域雨量指数に着目して二級河川の支流の情報を把握し、流域住民の安全確保に努めた。

### 危機管理型水位計の観測停止までの水位経過と機器の設置状況



【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■大船渡市

## 【昨年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

## 洪水時等における避難確保計画の作成

市内小中学校に対して、計画策定に向けた説明を実施

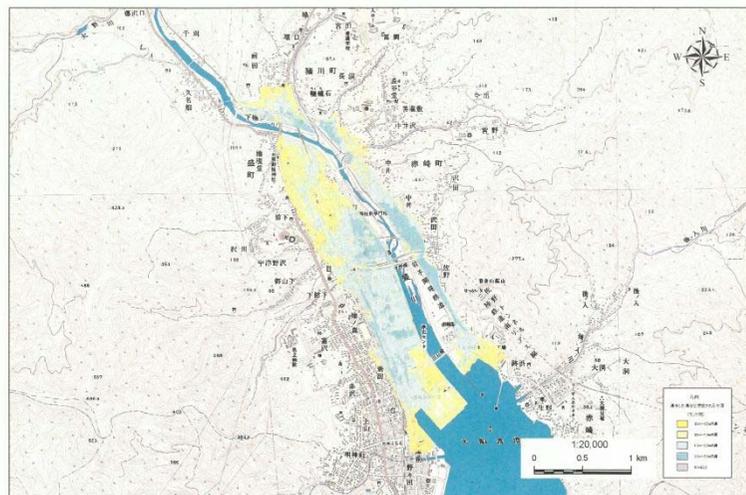


図-5.7.1 避難最大浸水範囲

## 【今年度取組内容】

### ◆安全な避難行動のための取組

## 洪水土砂災害ハザードマップの作成

地区ごとにワークショップを実施し、ハザードマップを作成



# ■大船渡市

## 【昨年度の災害対応事例】

### 避難情報の伝達方法の事例

#### 効 果

盛川に設置されている監視カメラや危機管理型水位計等の情報をもとに避難勧告の発令を行い、地域住民に避難を呼びかけた。

#### 課 題

- ・洪水土砂災害ハザードマップを作成していない。
- ・各地区にある指定避難所の数が少ない。

#### 改善策

今年度に洪水土砂災害ハザードマップの作成を予定しており、あわせて指定避難所の見直しを行うこととしている。

# ■久慈市

## 【昨年度取組状況】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

○市民の防災に対する意識の向上と啓発を図る取組

自主防災組織や、一般市民等を対象とした防災講演会を実施



## 【今年度取組内容】

### ◆安全な避難行動のための取組

○地域防災の要となる自主防災組織主体の避難訓練の実施

自主防災組織主体による、実践的な避難訓練の実施



# ■久慈市：令和元年台風第19号災害

## 市民に対する早めの避難の呼びかけ

### 【被害の概況】

平成28年台風第10号を上回る雨量を記録した台風第19号の影響により、浸水による家屋被害や道路施設の崩壊など、甚大な被害が発生した。

### 【対応】

市では、岩手県風水害対策支援チーム・盛岡地方気象台・滝ダム等の関係機関からの情報提供を受け、風雨の強まる前に避難情報を発令し、市民に対して早めの避難を呼びかけた。また、自主防災組織の代表者に電話連絡し、必要な避難行動を取るよう呼びかけた。

### 【今後の課題】

大雨特別警報、記録的短時間大雨情報が発表された深夜帯に避難した市民も多かったことから、市民に対し、「早期避難の大切さ」を粘り強く啓発していく必要がある。



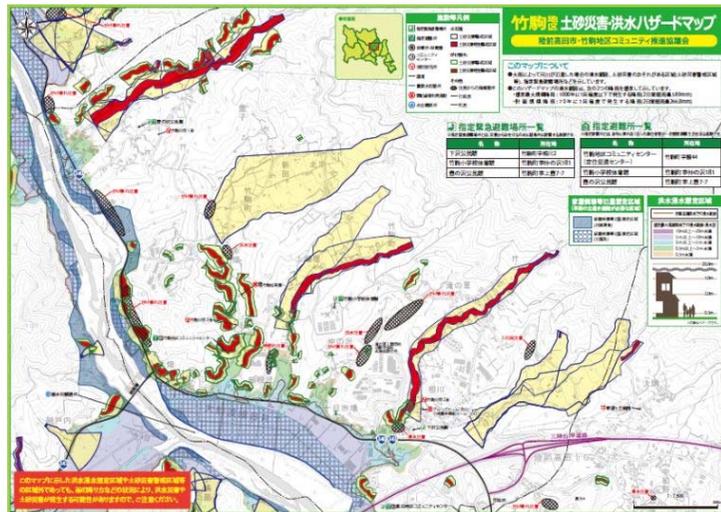
# ■ 陸前高田市

## 【昨年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

水害及び土砂災害リスクや避難に関する情報の提供

想定最大規模降雨での浸水域や最新の土砂災害警戒区域等を示したハザードマップを配布



## 【今年度取組内容】

### ◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

指定避難所内での感染予防

新型コロナウイルス感染症対策として指定避難所に手指消毒用アルコール、体温計及びマスクを備え付け



【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■ 陸前高田市

## 【昨年度の災害対応事例】

### 避難所開設訓練の実施

避難所運営訓練を実施し、避難者受入訓練、備蓄機材の確認及び炊き出し訓練を行った。



【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# 釜石市

## 【昨年度取組状況】

◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

超高密度気象観測システムPOTEKA  
(ポテカ)の設置

雨量等を観測する装置として、釜石市唐丹町に設置



## 【今年度取組内容】

◆安全な避難行動のための取組

市東部地区における土砂災害ハザードマップの作成

地元の方と懇談会(ワークショップ)を行ない、ハザードマップを作成



# ■釜石市

## 【昨年度の災害対応事例】

### 台風第19号における伝達方法の事例

#### ①効果

危機管理型水位計等の情報により、各地区消防団への注意喚起、状況偵察の依頼等が従前と比較して、適時適切に実施可能となった。

#### ②課題

土砂災害に関しては津波災害と比較して住民の危機意識が低い。地区ごとのハザードマップの作成等で防災意識高揚を図っているがより一層の工夫が必要と思料。

#### ③改善策

学校教育を含めた、防災教育の充実強化を図る。

#### ④住民からの意見

昨年の台風被害は、沢からの出水が多かったため、県・国による砂防ダム等の要望が住民からは度々出ている。また、河川の浚渫についても要望が多い。

# 住田町

## 【昨年度取組状況】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

### 住民参加による実践的な訓練の実施

地域住民、消防団、関係機関等が連携し総合防災訓練を実施



## 【今年度取組内容】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

### 自主防災組織の育成強化

自主防災組織の育成強化に向け防災講演会や地域座談会を開催



# ■大槌町

## 【昨年度取組状況】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

要配慮者利用施設と連携した実践的な訓練の実施及び避難確保計画の作成促進

要配慮者利用施設と連携した実践的な訓練を実施。写真は、昨年度に実施された町と要配慮者利用施設との合同避難訓練の様子。



## 【今年度取組内容】

### ◆安全な避難行動のための取組

自主防災組織や地域住民を対象とした水害リスクや防災に関する知識の普及

「大槌町防災マップ」を活用した、水害に関する出前講座及び訓練を自主防災組織や各地区等で実施。写真は、昨年度に実施された図上訓練の様子。



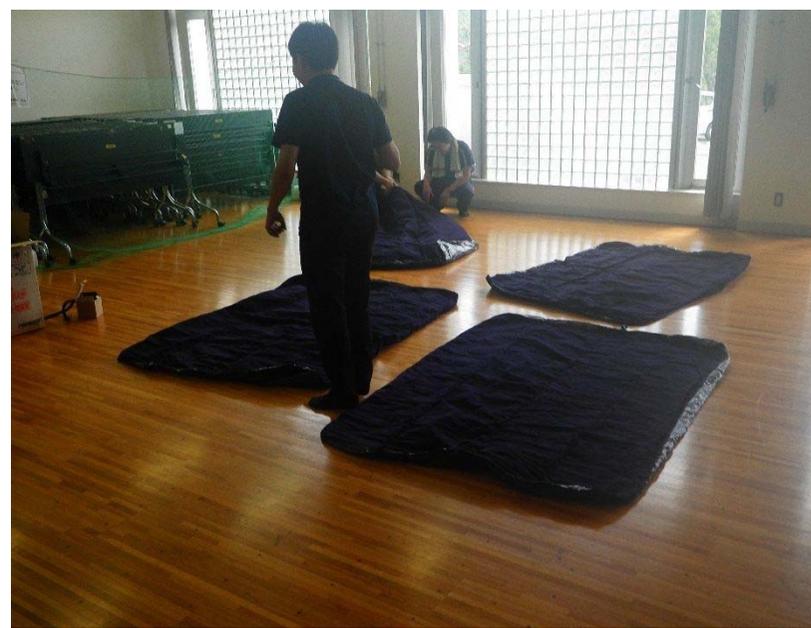
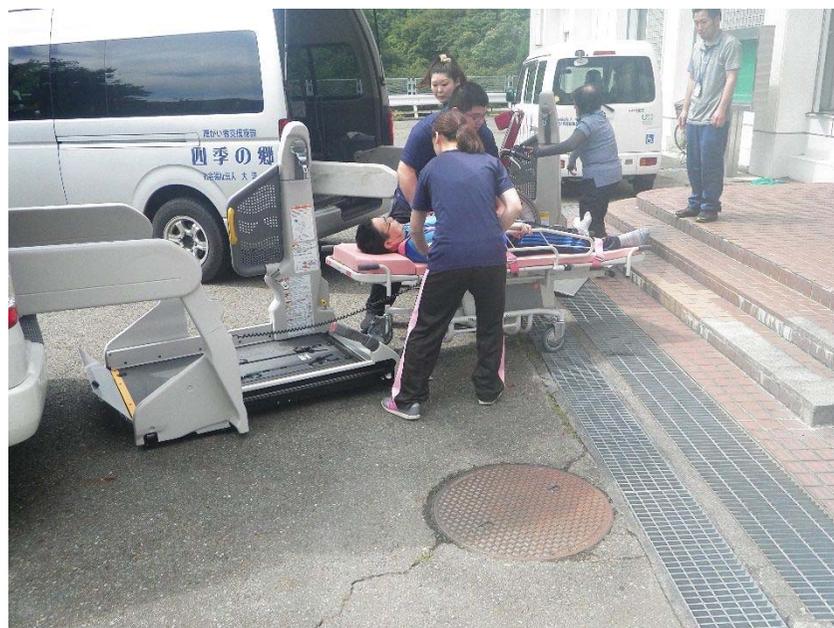
【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■大槌町

## 【昨年度の災害対応事例】

### 要配慮者利用施設による実践的な避難の実施

要配慮者利用施設と連携した実践的な訓練を実施していることにより、昨年度の台風19号の際にも、迅速的に避難をすることができた。  
写真は、昨年度に実施された町と要配慮者利用施設との合同訓練の様子。



【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# 山田町

## 【昨年度取組状況】

◆人命と財産を守る水防活動及び排水活動の取組

防災関係機関と連携した水防訓練の実施

土嚢の作成及び各工法による堤防の決壊防御訓練



## 【今年度取組内容】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

自主防災組織の結成促進・活動促進

自主防災組織等と意見交換会の実施

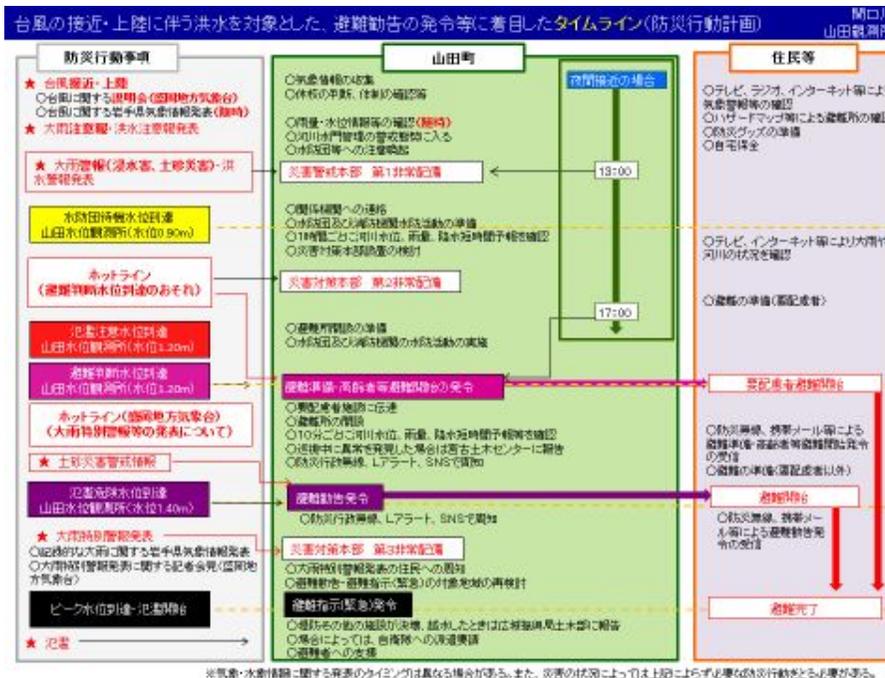


# 山田町

## 【昨年度の災害対応事例】

### タイムラインの運用

- ①効果: 作成したタイムラインを運用した際、避難勧告等が夜間の発令となり、明るいうちの避難完了ができなかった。
- ②課題: 風水害対策支援チームの助言と河川水位の情報をもとにしたタイムラインの齟齬がある。
- ③改善: **大型台風**の場合は、風水害対策支援チームの助言を考慮する。



避難収容時刻	男	女	計	世帯
12日14:00	1	6	7	7
15:00				
16:00				
17:00	34	103	137	89
18:00	60	103	144	90
19:00	107	161	268	176
20:00	206	206	339	202
21:00	244	226	370	214
22:00	151	242	393	226
23:00	159	252	411	231
13日0:00	161	253	414	233
1:00	180	272	453	246
2:00			568	284
3:00	250	348	598	293
4:00	265	366	631	308
5:00	266	369	635	310
6:00	242	352	594	297
7:00	176	259	435	221
8:00	75	119	194	127
9:00	60	88	148	103
10:00	38	32	70	65
11:00	8	9	17	9
12:00	5	5	10	5

# ■岩泉町

## 【昨年度取組状況】

◆安全な避難行動のための取組

指定避難所への備蓄品等の配備

孤立化対策として、指定避難所に  
発電機等を配備



## 【今年度取組内容】

◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

感染症拡大防止に向けた自主防災組織との連携強化

自主防災協議会連絡会議で取り組み内容を協議 連携した取組みへ



# ■ 岩泉町

## 【昨年度の災害対応事例】

### 予報と実地を踏まえた早目の判断

#### 気象情報と実地数値情報と実地現況情報の複合情報による防災判断

##### 1 町災害対策本部の対応経過

10月10日（木）

15:00 台風対応に係る第1回課長等協議開催（対応方針検討）

10月11日（金）

07:05 台風への備えについて、住民周知

14:30 台風対応に係る第2回課長等協議開催（対応方針決定、情報共有）

19:05 避難所開設予定や町の対応方針を住民周知

10月12日（土）

09:55 避難所開設予定や町の対応方針を住民周知

10:07 平成28年台風第10号並の雨量が予想されることを表記し、早期の避難について、住民周知（その後、午前1回、午後1回同様に周知）

12:00 台風警戒のため町災害警戒本部及び全地区支部を設置

13:00 町全域に「警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始」発令  
同時刻で避難所11か所を開設

13:35 暴風警報、波浪警報発表

14:30 町全域に「警戒レベル4 避難勧告」を発令  
同時刻で町災害対策本部へ格上げ

15:00 第1回町災害対策本部会議を開催（対応・体制の確認）

16:30 リエゾン到着、岩泉警察署1名

16:45 リエゾン到着、自衛隊（宮古事務所ほか）1名

17:00 リエゾン到着、国土交通省東北地方整備局 三陸国道事務所2名

17:30 「早期避難及び自宅等での命を守る行動」について、住民周知（その後、同内容を30分おきに3回周知）

19:46 大雨警報（土砂災害）発表

21:26 洪水警報発表

21:30 土砂災害警戒情報発表

町全域に「警戒レベル4 避難指示（緊急）」を発令



栃の木



外椽

雨量数値情報の得難い地点への町独自雨量計設置による  
実地雨量の把握

雨量 ※降水開始は、10月11日22:00

観測場所	累加雨量 (mm)	1時間雨量 (mm)	(観測時)
岩泉メガス	195	20.5	10/13 00:00
地域整備課	180	19	10/13 00:00
小本メガス	450	91.0	10/13 02:00
小本支所	406	83	10/13 02:00
小川支所	115	12	10/13 02:00
国境	117	11	10/13 02:00
権現	19	14	10/13 00:00
大川支所	137	15	10/13 00:00
外椽	123	12	10/13 02:00
権取	94	12	10/13 00:00
安家支所	202	18	10/13 00:00
坂本	140	13	10/13 06:00
有蓋支所	257	27	10/13 00:00
栃の木	264	29	10/13 00:00

# ■ 田野畑村

## 【昨年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

河川氾濫浸水想定、土砂災害危険箇所、津波浸水域を1つのマップ上に網羅

総合防災マップの作成(全戸配布)  
対象 1,200世帯 100事業所

地区毎に河川氾濫浸水想定、土砂災害危険箇所、津波浸水域を1つのマップ上に示す内容となっている。

- ・災害種別毎の避難場所/避難所を周知
- ・災害種別毎の避難行動の違いを周知
- ・気象情報収集方法や避難警戒レベルを周知

## 【今年度取組内容】

### ◆防災情報の着実な住民伝達と多重化

防災行政無線デジタル化整備と防災情報機器のクラウド化

防災行政無線デジタル化整備、気象観測装置整備、本部・避難所情報機器整備と情報共有

- ①同報系防災行政無線整備  
親局(1)/中継局(1)/子局(55)/再送信子局(4)  
/戸別受信機(1300)
  - ②移動系無線整備  
車載無線(12)・携帯型(13)
  - ③本部/避難所情報機器整備  
PC/大型モニター(4)
- その他  
気象観測装置整備(4箇所)  
Jアラート連動接続  
自動メール配信連携

# ■ 普代村

## 【昨年度取組状況】

◆ 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

防災訓練での住民参加の実践的な訓練の実施

住民参加の訓練を実施



## 【今年度取組内容】

◆ 地域防災力を維持・継続・強化するための取組

地域住民を対象とした災害リスクや防災に関する知識の普及

防災に関する知識の普及のため、  
防災講演会の実施



【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■野田村

## 【昨年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

#### 令和元年台風第19号災害時の取り組み

令和元年台風第19号災害においては、岩手県風水害対策支援チームからの助言に基づき、早期の避難情報発令を実施した。  
また、平成30年度末に野田村の宇部川が水位周知河川に指定されたことにより、災害発生及び発生の恐れを迅速に住民へ周知することができた。

## 【今年度取組内容】

### ◆安全な避難行動のための取組

#### 洪水・土砂災害を想定した防災訓練の実施

令和2年度野田村防災訓練は令和元年台風第19号災害の反省も踏まえた洪水・土砂災害を想定した訓練の実施を予定している。  
訓練の実施にあたっては、地域住民や自主防災組織の参画に重点を置いた訓練内容としたいと考えている。

【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■野田村

## 【昨年度の災害対応事例】

### 避難情報の伝達方法の事例

令和元年台風第19号の際、協議会の活動により設置した危機管理型水位計の情報を活用し、これまで目視による水位確認を行っていた小河川においてPCやスマートフォンにより水位の確認を行うことができるようになり、消防団や職員の安全な活動に資することができた。

また、危機管理型水位計の情報により、災害発生の恐れのある小河川をピンポイントで把握できたことにより、その情報を住民へ迅速に周知することができた。

しかしながら、令和元年台風第19号の際、東日本の広範囲で被害が発生したこともあり、回線がつながりにくく、雨のピークとなった時間帯で情報が得られなくなってしまうという事態となったため、今後には備え改善が必要な点であると思われる。

【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# 洋野町

## 【昨年度取組状況】

### ◆安全な避難行動のための取組

地域住民と防災関係機関が一体となった防災訓練の実施

土砂災害警戒区域等における避難訓練及び土砂災害講話を開催



## 【今年度取組内容】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

令和元年台風19号災害の検証の実施  
(予定)

過去の災害時の対応検証による減災、防災力の向上



【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# 盛岡地方気象台

## 【昨年度取組状況】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

市町村との顔の見える関係の維持・継続、防災に関する知識の普及啓発

首長訪問や出水期前の市町村訪問による市町村との顔の見える関係の維持・継続、自主防災組織や地域住民及び児童・生徒等を対象とした防災に関する知識の普及啓発



## 【今年度取組内容】

### ◆地域防災力を維持・継続・強化するための取組

平常時から緊急時まで、地域に寄り添った防災気象情報の提供

### 適時適切な防災気象情報の提供

#### 平常時

- 予報官コメントやメール等による解説
- 研修や訓練への協力  
⇒訓練シナリオ作成、ワークショップ、勉強会等
- 地域防災計画や避難マニュアル作成への協力

#### 緊急時

- 台風説明会、ホットライン、予報官コメント  
⇒利用者の立場に立った情報提供
- J E T T の派遣  
⇒気象台職員を迅速に派遣

【備考】協議会において、取組内容について、1分程度(200文字)の口頭説明を予定しています。

# ■ 岩手県総務部総合防災室

## 【昨年度取組状況】

### ◆ 安全な避難行動のための取組

台風接近時に伴う対応について、県から市町村に助言

#### ● 風水害時の活動

台風第19号接近時に、岩手県風水害対策支援チームを2回招集

チームからの助言に基づき、県から全市町村に対し、警戒を必要とする地域や日中の避難完了が望ましいこと等について助言を実施

#### ● 平時の活動

気象台等と連携し、17市町村において、防災気象情報の活用、災害情報システムの操作、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施

## 【今年度取組内容】

### ◆ 安全な避難行動のための取組

岩手県風水害対策支援チームの活動の継続、市町村研修の実施

#### ● 風水害時の活動

台風等接近時に岩手県風水害対策支援チームを招集し、市町村に対する助言内容を検討

#### ● 平時の活動

気象台等と連携し、20市町村において防災気象情報の活用、災害情報システムの操作、災害への初動対応や図上訓練等に係る研修を実施する予定

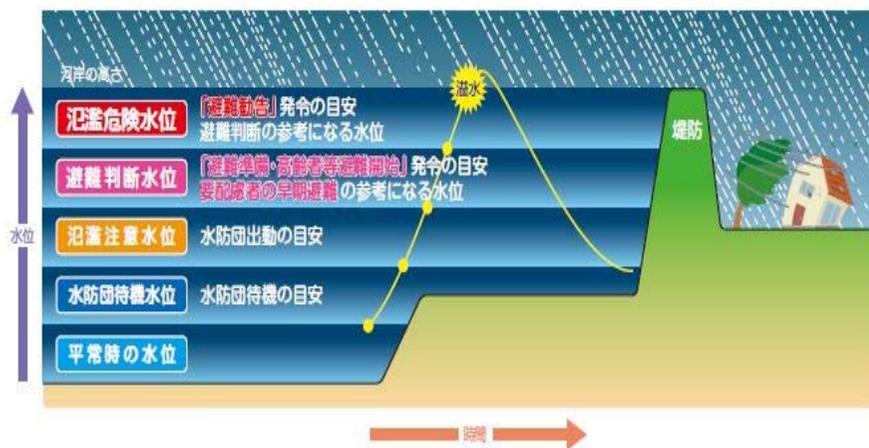
# 岩手県県土整備部

## 【昨年度取組状況】

◆安全な避難行動のための取組

### 水位周知河川の指定拡大

水位周知河川指定5カ年計画に基づき、2河川(岩崎川、人首川)を指定。



◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

### 簡易型河川監視カメラの設置

簡易型河川監視カメラを県内に114基(うち、当圏域 62基)設置。



カメラ設置状況



表示画像

# 岩手県県土整備部

## 【今年度取組内容】

◆安全な避難行動のための取組

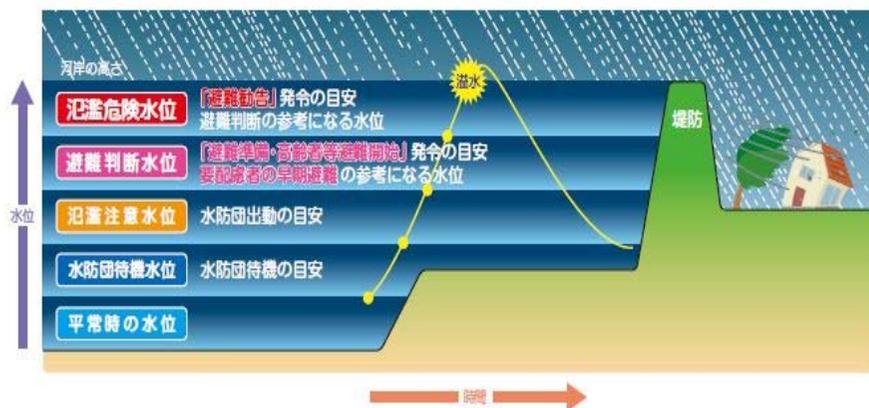
◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

## 水位周知河川の指定拡大

## 簡易型河川監視カメラの運用開始

水位周知河川指定5ヵ年計画に基づき、千厩川など2河川を指定予定。

令和元年度から設置を進めている簡易型河川監視カメラについて運用開始予定。



# ■沿岸広域振興局土木部

## 【昨年度取組状況】

### ◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

流下能力を確保するため、河道掘削、立ち木伐採を実施

### ◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

簡易型河川監視カメラの設置  
(令和2年度映像配信開始予定)

甲子川、小川川、鶉住居川、大槌川、小鍬川  
において、簡易型河川監視カメラを設置



小川川

## 【今年度取組内容】

### ◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

流下能力を確保するため、河道掘削、立ち木伐採を実施

甲子川、鶉住居川、大槌川、小鍬川等において、河道掘削、立ち木伐採を計画的に推進



小鍬川

# ■ 宮古土木センター

## 【昨年度取組状況】

### ◆ 洪水洪水氾濫を未然に防ぐ対策

堆積土砂の撤去により適正な流下能力を確保し、洪水の防止を図る

河道掘削の実施により、流下能力の拡大  
二級河川津軽石川(宮古市津軽石地区)

その他  
実施河川  
・閉伊川  
(花原市地区)  
(墓目地区)



## 【今年度取組内容】

### ◆ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

堆積土砂の撤去により適正な流下能力を確保し、洪水の防止を図る

河道内の立木・堆積土砂の撤去を計画的に実施  
二級河川閉伊川(宮古市長町地区)

その他  
実施予定河川  
・二又川  
(墓目地区)  
・織笠川  
(轟木地区)



# ■岩泉土木センター

## 【昨年度取組状況】

◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

水位等の観測データを把握・伝達するための基盤整備の強化

### 普代川水位局の設置



※過年度設置 小本川穴沢水位観測所の例

## 【今年度取組内容】

◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

河川の適切な維持管理(河道掘削、立木伐採)

### 河道掘削、立木伐採の計画的な推進



※令和元年度実施 明戸川の例

# ■ 岩泉土木センター

## 【昨年度の災害対応事例】

### 課題

令和元年台風第19号の際に、危機管理型水位計のホームページにアクセスできず、水位情報が見られなかった。

### 要望

後日、災害対応に関する検証作業等を行う際に水位情報を参考にしたいため、過去の水位データを閲覧できるようにしてほしい。

# 大船渡土木センター

## 【昨年度取組状況】

### ◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

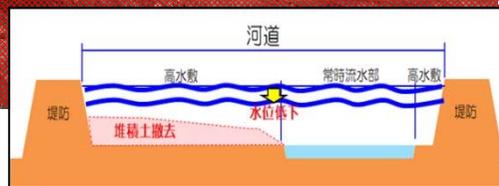
流下能力を確保するため、河道掘削及び立木伐採の着実な実施

大船渡市猪川地区における河道掘削の実施により、流下能力の拡大による洪水浸水被害の軽減及び堤防に対する安全性の向上が図られた。

取組前



取組後



## 【今年度取組内容】

### ◆洪水氾濫を未然に防ぐ対策

流下能力を確保するため、河道掘削及び立木伐採の着実な推進

河川流下阻害となる河道堆積土砂の撤去(河道掘削)の推進  
(二級河川立根川)



河川流下阻害となる河道堆積土砂の撤去(河道掘削)の推進。  
(二級河川矢作川)



# ■ 県北広域振興局土木部

## 【昨年度取組状況】

◆ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

### 立木伐採及び河道掘削の着実な推進

河川流下阻害となる立木及び堆積土砂撤去  
(河道掘削)の推進(二級河川久慈川ほか)



## 【今年度取組内容】

◆ 洪水氾濫を未然に防ぐ対策

### 立木伐採及び河道掘削の着実な推進

河川流下阻害となる立木及び堆積土砂撤去  
(河道掘削)の推進(二級河川長内川ほか)



# ■ 滝ダム管理事務所

## 【R1年度取組状況】

◆避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

長内川(長内橋地点)の水位計の交換などによる水位情報の強化

現行の水位計及び伝達システムではマイナス水位表示ができないことから、より正確な情報発信のため、施設改良を実施(水晶式水位計に変更)



## 【R2年度取組内容】

◆ダム操作に係る各関係機関との連絡体制の確認(安全な避難行動のための取組)

久慈市、消防、警察など関係機関との洪水時のダム運用に関する情報共有

ダム操作に係る関係機関の相互理解と連絡体制の確認などについて連絡会議を4月中に実施予定

